

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月20日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンワドー
 コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長新業態開発担当
 兼 管理担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中村 勝弘

(氏名) 中村 勝憲

TEL 017-782-3200

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の連結業績(平成25年2月21日～平成25年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	7,271	△2.2	81	△55.2	96	△48.8	50	△50.3
25年2月期第1四半期	7,433	2.0	182	△25.0	188	△17.6	101	—

(注) 包括利益 26年2月期第1四半期 228百万円 (264.1%) 25年2月期第1四半期 62百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	9.53	—
25年2月期第1四半期	19.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	18,374	5,417	29.5	1,026.07
25年2月期	17,104	5,251	30.7	994.69

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 5,417百万円 25年2月期 5,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年2月21日～平成26年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	3.4	470	2.9	520	9.9	260	△0.7	49.25
通期	33,000	5.8	1,000	11.4	1,100	13.0	550	5.1	104.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	5,280,000 株	25年2月期	5,280,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	528 株	25年2月期	528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	5,279,472 株	25年2月期1Q	5,279,472 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年2月21日～平成25年5月20日）における我が国経済は、昨年末に発足した新政権の経済政策と金融緩和策が好感され、円安・株高へと転じ、景気回復への期待感が高まっております。しかしながら国内の実体経済に勢いは感じられず、消費税率引き上げを控え消費の盛り上がりが見込まれるものの、雇用・所得環境は依然として改善されず、経済環境の不透明感は払拭されない状況にあります。

このような環境の中、当社グループの営業面では、4月にジョーシン中央店をグランドオープンし、家電売場の充実を図ったほか、従来より推し進めている食品部門の強化・拡充策として、北海道初となる業務スーパーを4カ店に導入し、お客さまの利便性向上に努めました。ホームセンター部門では、主力である季節商品の早期展開や、品揃え、価格等の見直しを行ったほか、新商品を展開する等、売上確保に努めました。しかし、春先の降雪や低温が長引いたほか、行楽シーズンや大型連休の天候が振るわなかったことにより、季節性のある部門が影響を受け、第1四半期においては厳しい状況となりました。経費面においては、家電売場の増設や食品部門強化に伴う販売体制強化による人員増加と、冷凍・冷蔵設備を増設したことにより、人件費、水道光熱費が増加しました。その他、店舗改装等により広告宣伝費、販売促進費、修繕費、減価償却費が増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,271百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は81百万円（前年同期比55.2%減）、経常利益は96百万円（前年同期比48.8%減）、四半期純利益は50百万円（前年同期比50.3%減）となり、減収減益となりました。減益の要因は、主に売上高の減少によるものと、食品部門の売上構成比の上昇による粗利率の低下及び店舗改装等による販売費及び一般管理費の増加によるものであります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は1,960百万円（前年同期比6.4%減）となりました。春先の低温により暖房用品が堅調に推移したほか、新規に取り組んだ布団、マットレス等の寝具が好調でした。一方で、低温の影響により昨年は好調であった夏物肌着、収納ケース、物干し台等が売上を落としました。その他、為替の影響により紙製品類が値上がりし、ティッシュ、トイレットペーパー類が売上を落としました。家電では小型液晶テレビが好調に推移したものの、大型液晶テレビ、レコーダーの価格上昇で販売数が伸びず大きく売上を落としたほか、関連商品であるアンテナ、分波器等も売上を落としました。

この結果、セグメント損失は54百万円（前年同期は16百万円のセグメント損失）となりました。

「食品」

「食品」の売上高は2,340百万円（前年同期比2.7%増）となりました。低温による桜の開花時期の遅れや、大型連休の天候不順により、冷蔵品、清涼飲料、お茶等の小型ペット飲料が不調でした。一方で、従来より進めている食品部門の強化策として、3月に大館店へ日配品、冷蔵品を導入するなど既存店の食品売場拡充や品揃え、価格等の見直しを行ったことにより、缶飲料、冷凍食品、菓子が好調に推移しました。さらに北海道では初となる業務スーパーを4月に本通店、上磯店、登別店、5月に砂川店へ導入したことにより食品部門全体を押し上げ売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は増収となりましたが、店舗改装等による販売費及び一般管理費が増加し、セグメント利益は29百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は1,558百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

「DIY」では、電動工具、先端パーツ、単管、セメント等が堅調に推移したものの昨年の雪害特需の反動により、住宅の屋根・壁等の修繕に使用する建築資材等が不調であったほか、補修に関連した工具も売上を落としました。

「グリーン」では、春需要を見込み季節商品の早期展開を行いました。昨年以上に残雪や低温の影響が大きく農作業や家庭園芸の動きが遅れ、花・野菜苗、用土、除草剤等で売上を落としました。反面、除雪用品、除雪機、防寒衣料、長靴等に需要が生じ前年を上回りましたが、グリーン全体としては減収となりました。

この結果、セグメント利益は37百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は991百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

「カー」では、長引く降雪の影響で、ワイパーブレード、スノーブラシ、不凍液や解氷剤等の冬季用品が好調に推移し売上を伸ばしました。一方で、新車販売台数の減少から冬タイヤ、レーダー、エンジンスターターが売上を落としたほか、スマートフォンの普及や地デジ需要が落ち着いたことによりポータブルナビが売上を落としました。

「レジャー」では、テント、チェア、コンロ等の厳選商品を早期割引で販売したことが奏功し売上を伸ばしました。しかしながら、春先の低温によりバーベキュー関連商品やクーラーボックスが苦戦したほか、自転車が販売ピーク時の天候不良により客数が減少し、軽快車や通勤用自転車が好調に推移したものの、全体的には大きく売上を落としました。

この結果、セグメント利益は28百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

「その他」

「その他」の売上高は420百万円（前年同期比7.1%増）となりましたが、セグメント利益は5百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,270百万円増加し、18,374百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ865百万円増加し、6,003百万円となりました。主に、商品及び製品が季節商品品揃え等により507百万円、現金及び預金が213百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ404百万円増加し、12,370百万円となりました。主に、投資有価証券が時価評価等により305百万円、リース資産が店舗改装の設備投資等により147百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,104百万円増加し、12,957百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ301百万円増加し、8,007百万円となりました。主に、未払法人税等が248百万円、短期借入金が約定返済等により165百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が仕入高増等により510百万円、1年内返済予定の長期借入金が162百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ802百万円増加し、4,949百万円となりました。主に、社債が260百万円減少しましたが、長期借入金が924百万円、リース債務が119百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、5,417百万円となりました。主に、その他有価証券評価差額金が178百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年2月21日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	468,416	681,838
受取手形及び売掛金	311,122	436,769
有価証券	3,148	3,149
商品及び製品	4,112,017	4,619,362
繰延税金資産	95,719	88,920
その他	147,730	173,922
流動資産合計	5,138,154	6,003,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,142,299	2,152,943
土地	5,488,963	5,488,963
その他(純額)	272,466	431,654
有形固定資産合計	7,903,729	8,073,561
無形固定資産		
投資その他の資産	19,370	19,007
投資有価証券	942,208	1,247,875
繰延税金資産	57,049	—
敷金及び保証金	2,596,206	2,534,927
その他	455,439	502,820
貸倒引当金	△7,525	△7,486
投資その他の資産合計	4,043,377	4,278,136
固定資産合計	11,966,476	12,370,705
資産合計	17,104,631	18,374,667
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,015,706	3,526,655
短期借入金	1,765,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	1,139,225	1,301,365
1年内償還予定の社債	700,000	620,000
未払法人税等	285,650	36,965
賞与引当金	40,700	82,780
役員賞与引当金	14,200	3,590
ポイント引当金	87,695	84,736
その他	658,326	751,828
流動負債合計	7,706,504	8,007,921
固定負債		
社債	930,000	670,000
長期借入金	2,403,575	3,327,950
退職給付引当金	258,549	260,360
役員退職慰労引当金	77,960	65,830
資産除去債務	223,220	224,373
繰延税金負債	—	23,407
その他	253,362	377,733
固定負債合計	4,146,667	4,949,654
負債合計	11,853,172	12,957,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,648,335	3,635,290
自己株式	△261	△261
株主資本合計	5,099,904	5,086,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,555	330,233
その他の包括利益累計額合計	151,555	330,233
純資産合計	5,251,459	5,417,092
負債純資産合計	17,104,631	18,374,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
売上高	7,433,050	7,271,385
売上原価	5,838,948	5,756,113
売上総利益	1,594,101	1,515,272
販売費及び一般管理費	1,411,721	1,433,591
営業利益	182,380	81,680
営業外収益		
受取利息	1,555	981
受取配当金	334	789
不動産賃貸料	8,948	8,603
発注システム使用料	7,157	8,497
その他	14,350	17,139
営業外収益合計	32,347	36,012
営業外費用		
支払利息	22,350	16,842
支払保証料	1,792	1,156
その他	2,009	3,142
営業外費用合計	26,152	21,140
経常利益	188,574	96,552
特別利益		
固定資産売却益	6	1
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産売却損	—	65
固定資産除却損	284	2,752
特別損失合計	284	2,818
税金等調整前四半期純利益	188,296	93,736
法人税、住民税及び事業税	84,671	33,503
法人税等調整額	2,494	9,923
法人税等合計	87,166	43,427
少数株主損益調整前四半期純利益	101,130	50,308
四半期純利益	101,130	50,308

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101,130	50,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,245	178,678
その他の包括利益合計	△38,245	178,678
四半期包括利益	62,884	228,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,884	228,986
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年2月21日至平成24年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	2,096,041	2,277,858	1,636,904	1,029,993	7,040,796	392,253	7,433,050	—	7,433,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	389	3	104	8,235	8,733	2,821	11,554	△11,554	—
計	2,096,430	2,277,861	1,637,008	1,038,228	7,049,530	395,074	7,444,605	△11,554	7,433,050
セグメント利益又は 損失(△)	△16,957	48,326	68,457	34,638	134,464	7,129	141,593	40,786	182,380

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額40,786千円には、支払利息の調整額22,350千円、支払保証料の調整額1,792千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額14,250千円及び当社グループ間売上に係る調整額2,393千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年2月21日至平成25年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,960,890	2,340,141	1,558,338	991,931	6,851,302	420,083	7,271,385	—	7,271,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	419	3	53	6,952	7,428	3,313	10,742	△10,742	—
計	1,961,310	2,340,144	1,558,392	998,883	6,858,731	423,397	7,282,128	△10,742	7,271,385
セグメント利益又は 損失(△)	△54,161	29,894	37,772	28,000	41,505	5,655	47,160	34,519	81,680

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額34,519千円には、支払利息の調整額16,842千円、支払保証料の調整額1,156千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額14,250千円及び当社グループ間売上に係る調整額2,271千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。